

潤いの森 7月

ゲンノショウコ

フウロソウ科多年草 花期：7～10月



ゲンノショウコの名前は、薬草としての効果がたちまちあらわれることに由来します。ゲンノショウコは日本の三大薬草のひとつで、古くから民間薬として下痢止めや胃腸の不調に使われてきました。漢字で表すと「現之証拠」となり、煎じて飲めば「現の証拠（この通り効く証拠）」を実感できるといわれます。

ベニバナゲンノショウコ



赤色は西日本に多いようですが潤いの森では多く見かけることが出来ます。

アキカラマツ

キンボウゲ科多年草
花期：7-10月



初夏から秋にかけて、カラマツの葉を思わせる黄緑色の小さな花を枝先に群がるように咲かせることから、「秋カラマツ」の名が生まれたとされています。

カブトムシ

甲虫目コガネムシ科 観察時期：6-8月

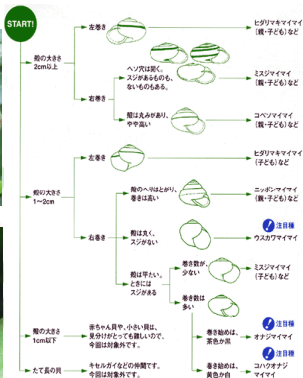


潤いの森では、腐葉土置場から出てきた幼虫をカブトムシ小屋に移動させています。日本全土で見られますが、北海道では近年、急速に分布域が広がっており、本州などの個体が人為的に移入されたと考えられ、問題となっています。

カタツムリ

腹足綱 ナンバンマイマイ科
オナジマイマイ科

潤いの森で見かけるカタツムリは、主にミスジマイマイやニッポンマイマイですが、日本には実に700~800もの種類のカタツムリが生息していると言われていま



日本自然保護協会HPより引用

ヤマユリとルリタテハ

ユリ科球根植物 花期：7-8月



ヤマユリは世界最大の百合で、カサブランカなど、多くの観賞用の百合にも改良されて世界中で愛されています。サルトリイバラを食草にしていることで有名なルリタテハですが、ヤマユリなども食草としています。

チョウ目タテハチョウ科
観察時期：4-11月



幼虫の写真...昆虫エクスポージャーHPより引用